

文化遺産 鯨船行事 継承に役立てて

四日市市教委がマニュアル制作



鯨船行事の所作や練り方を収めた継承マニュアル。冊子とDVDがあり、写真や映像で解説する。四日市市役所で

写真や映像で

伝統の継承に役立ててもらおうと、四日市市教委が国連教育科学文化機関（ユネスコ）無形文化遺産「鳥出神社の鯨船行事」の所作やうたいの節回し、山車の組み立て方や練り方を収めたマニュアルを作った。冊子とDVDがあり、山車を継ぐ四組でつくる「富田鯨船保存会連合会」に配布。練習時などに活用してもらおう。保存会関係者以外も市の施設で閲覧できる。

（曾田晋太郎）

冊子はA4判、八十ページ。行になつていて、DVDは冊子事を使う鯨の張り子の制作かに連動し、詳細に解説する。

ら、祭りを終えて鳥出神社 写真や映像は、ユネスコ登録を機に全四組が祭りに参加「富田」に無事感謝する。宮 した二〇一七年に撮った。制作の背景には少子高齢化に伴

参り「までを十一章で紹介す う担い手不足があり、担当者月十四、十五両日に町内や神社で捕鯨を演じる様子など、

各章とも四組の動きを写真付 よつ、きちんと後世に伝える

きで説明。違いが分かる内容 仕組みをつくった」と説明す

る。担い手の確保につなげようと、市教委が祭りに合わせて昨年から小学生以上を対象に開く「サポーター講座」での活用も計画している。

冊子とDVDは百二十万円をかけた各二十部作った。昨年の祭りは降雨に伴い収録できなかつた箇所があるため、未収録部分については一九年度までに撮影し、完全版として仕上げる。担当者は「鯨船行事を観光資源として市内外にPRしていきたい」とも話

し、マニュアルは市教委社会教育課や地元富田地区市民センターの窓口で閲覧できる。☎社会教育課 059(354)8240